

# 躍進する生長の家社会事業団

SEICHO-NO-IE-SHAKAI-JIGYODAN

創始者谷口雅春先生の願いを正しく受けつぎ、国と社会に貢献する事業を展開しています。

公益財団法人  
生長の家社会事業団

〒186-0003

東京都国立市富士見台2丁目39-1

TEL: 042-843-0075 発行人: 久保文剛

FAX: 042-843-0076 編集人: 佐々木憲彦



## 谷口雅春先生への報恩感謝の思いを新たに、人類光明化の使命に邁進しよう!!

### 《今月拝読の御言葉》

真理の言葉を毎日拝読し、喜びあふれる  
光明生活を実践しましょう。

谷口雅春先生

### 心を明るくもつこと

太陽の光線が人間生活に是非とも必要であるように、明るい心は人間生活になくてならぬものなのである。神は或る意味では「光」として形容し得るのであるが、その「神」の「光」を人生に射し込ますためには「心の窓」を明るくすることが必要である。心の窓硝子が曇っていたならば、折角、神の光が皎々と照りわたつていても、その光が人生に入って来ないことになる。感謝と喜びの生活は、光に対して窓をひらくことになり、不平の生活は、光に対して窓を閉じることになる。何事に対しても感謝する心は、どんな鈍い光でも吸収して、自己を明るくすることになるのである。自己の運命は、自己の心の反映である。自己が明るい心をもてば、明るい運命が開けて来るし、自己が暗い心をもてば運命が暗くなる。

(新装新版『真理』第10巻 実相篇)

### 尊師のご生誕と住吉大神——私達の使命



生家のあった烏原水源地を久方ぶりに訪ねられた谷口雅春先生と輝子先生 (昭和34年10月30日) 『生長の家四十年史』より引用

11月22日は、尊師谷口雅春先生のご生誕日であり、本年はご生誕128年にあたり  
ます。

谷口雅春先生は、明治26年、兵庫県の  
烏原村(現神戸市)でお生まれになりました。

数え年四歳で養子に行かれたことによつて、兄弟の中でただ一人高等教育を受けることとなり、これがのちに「生命の真相哲学」の創始へとつながっていきます。早稲田大学時代、工場生活・大本教時代を経て、浅草で執筆中、関東大震災に遭われ神戸に帰郷、借りた家が本住吉神社の近くだったのです。尊師は毎日、本住吉神社に参拝し、日本国の隆昌とご皇室の弥栄を祈念される中で、「今起て!」との神啓を受けられたのでした。

「私の運命の大体の方向は、私の過去の業績に基く決算によつて、産土神が、何某の許に生まれよ、しかして何某の許へ養子に行き、結局、住吉大神の御旨を奉戴して人類光明化運動に励むと同時に、日本国家を護る運動を起すようにと導かれたのであった」(『神の真義とその理解』)

このようにして生長の家は、住吉大神の導きにより谷口雅春先生が悟りをひらかれ立教された教えです。

聖典『生命の真相』も聖經『甘露の法雨』も住吉大神のお言葉であり、「神想観」も尊師が住吉大神から授けられたものであります。その住吉大神の導きのもと、人類光明化、日本国実相顕現の大伝道が展開され、信徒百万の宗教となったのです。

そして昭和53年11月21日、「日本国家を千万年安泰にする霊的礎を築くために……端的にいえば、鎮護国家を目的とするお宮であつて住吉大神の御出御をお願いするための社」として(『生長の家』昭和50年9月号)、龍宮住吉本宮を建立され、尊師御自ら龍宮界より、龍宮の大神である住吉大神を勧請されたのでした。

かつて谷口雅春先生は、「もう私は、肉体的には、これから何歳生きるか知らないけれども、多分、年齢的に力及ばんけれども、肉体を超えて諸君を護る。皆さんは、まだ若いだからこれから何十年でも生命の真相の真理を広める事ができるんです。ここに、皆さんの使命がある」(『理想世界』昭和52年2月号)「皆さんの一人一人の中に住吉大神の全身が宿っているのである——皆さんが住吉大神である」(『生長の家』昭和54年3月号)とおさとし下さいました。

尊師の願いに生きる私達は、正しいみ教えを日々生活に実践すると共に、真理に生きる喜びを多くの人々に伝え、人類光明化、日本国実相顕現の立教の使命に邁進しようではありませんか。

# 報恩感謝の心が先祖供養の根本

先祖供養で一番大切なことは、報恩感謝の心です。その最高の報恩となるのが、聖經『甘露の法雨』に包まれた「霊牌供養」です。きつとご先祖のよろこびが、私達を幸福へと導いてくれることでしょう。

## “いのちのバトン”への感謝

NHKテレビに芸能人や有名人のご先祖が、どんな人生を歩んできたか、その道をたどるファミリーヒストリーという番組があります。出演者の先祖である曾祖父父母↓祖父父母↓父母が、イカナル縁で結ばれ、その時々々の苦難をどう乗り越え、本人に至ったか。それを古い写真や文書を探し、知人親族にインタビューをして明らかにしていく番組ですが、エンディングで殆どの出演者が「ああ自分が今日、名を成したのは私一人の力ではなかった。ご先祖のお陰であった」と、涙を流されるのですね。

この先祖への感謝は有名人だけの思いであってはなりません。私達も又、今日こうしてあるのは、ご先祖が「いのちのバトン」を受けついで下さったお陰です。書家の相田みつを氏に次の詩があります。

### 自分の番・いのちのバトン

父と母で二人／父と母の両親で四人／そのまた両親で八人／こうしてかぞえてゆくと／十代前で千二十四人／二十代前では――？／なんと百万人を越すんです／過去無量のいのちのバトンを受けついで／いまここに自分の番を生きている／それが／あなたの中のちです／それがわたしのいのちです

## 霊界からの先祖の導きへの感謝

この詩をくり返し読めば、先祖の有り難さが、しみじみ湧いてくるでしょう。でも、谷口雅春先生は「先祖のお陰はそれだけじゃない」。ご先祖は今も霊界から子孫を幸福へと導いていられるのであると、次のようにお話しになりました。

「——とかくわれわれ現実界の人間は、現実界だけで生活しているように思っているけれどもそうじゃない。現実界の人間はたいした働きもしていないのに非常に運よく行つてうまく事が運んだりする人があるでしょう。そういう人には祖先の霊の影響があるのです。——あるいは肉体の病気が治つたりすることもある。」

ですから（報恩行としての）祖先の霊供養ということが非常に大切であります。

## 聖經『甘露の法雨』での供養が最高の報恩行

では、私達はどのような霊供養をしたらいいいでしょうか。『生命の實相』（新編43巻・頭注版28巻）の中には端的にこう書いてあります。

「靈魂の食物というのは——善念をもって最も滋養物とするのであります。殊にわれわれが真理の念波を放送してあげるこ

とは靈魂には絶大な供養になる。それです。この『甘露の法雨』のようなお経を意味がわかつて読んで誦げる——そうしますと靈魂は非常に心が富み心が満腹し、生命が生長することになるのであります」（ツメ点編集部。一部要約）

ここに聖經『甘露の法雨』による供養、そして生長の家独特の先祖供養である「霊牌供養」が、先祖にとつて最高の喜びであり、奇蹟的功德をもたらす根拠があるのです。

その意味で皆様、一日一回は仏前で聖經誦をし、毎月、大切なみたま、心にかかると人のみたまの、霊牌供養を致しましょう。（来月は霊牌の具体的書き方について掲載します。）

## 霊牌供養で土地の問題が解決

岡山県 河原弘子（68歳）  
昭和63年、思い切つて郊外型の中華ファミリーレストランを開店し、主人と二人、頑張つて繁盛店を経営していました。

ところが平成2年のある日、突然、裁判所から借用地の競売通告が参りました。慌てて調べると地主さんが銀行に返済できなくなり競売になっていたので、普通なら自分達でその土地を購入すれば何の問題もないのですが、お店を開店したばかりでこれ以上お金は借りることは無理。おまけに時はバブルの真つ最中で、こんな場合は反社会勢力が介入してお店を乗っ取ることが多いと聞きました。

社長である夫は、弁護士さんや不動産屋さん、地元の経営の先輩方、銀行さんとあらゆる人へ相談に走り廻りました。しかし、誰もが「お金を工面して高くて買取るか、あきらめるしかない」との絶望的なアドバ

イスばかり。まさに八方塞がりでした。そのころ、母親教室が縁で生長の家の勉強を始めた私は、安東巖教化部長が「土地の問題はご先祖さまに霊牌を書いてお願いしたら良い」と講話されていたのを聞いたばかりでした。丁度、教区の練成会が開催されていたので、大急ぎで我家と地主さんのご先祖様や、お世話になっていた方々の霊牌を書きました。『これで大丈夫』と気が落ち着くまで書くに88柱になっていました。先祖供養祭に初めて参加し、夫も個人指導で『今まで商売をさせてもらった当たり前のことに感謝しなさい』と教えられ、共に祖父と父の永代供養、神癒祈願、神想観の実修を懸命に行いました。

もう神様とご先祖様にお任せしようと思つた時、「競売が取り下げられた」と連絡が入りました。たまたま我社と地主さんの銀行が同じで、我社の毎月の地代で地主さんの返済をすればよいと、支店長さん同士で話をしてくれたそうです。誰もが思いつかなかつた解決方法で、何か見えない大きな力が働いたのを実感しました。おかげで今まで通り商売を続けさせて頂くことになりました。



# 人類の聖典『生命の實相』全巻を拝読しましょう!!

## 秘話 一 谷口雅春先生はなぜ『生命の實相』の著作権を生長の家社会事業団に与えられたか

聖典『生命の實相』の著作権が、生長の家社会事業団に託された歴史の真実についてご存じない方が多いため、一部に「教団から著作権を奪った」とごとき虚偽の風説が流布されました。ここにその虚偽を正すため正しい歴史の真実をお伝えします。

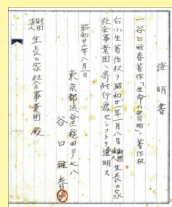
### 秘められた歴史の真実とは!

尊師谷口雅春先生は、昭和20年、大東亜戦争の敗戦に国民が打ちひしがれているとき、「天皇制護持の政治結社」の設立を始めとする日本救国・世界救済の十大構想を、戦後復刊第一号の『生長の家』誌を通し全国民に提唱されました。この国家的社会的な大運動の中枢機関として財団法人生長の家社会事業団は設立されたのです。(『生長の家』誌昭和20年11月号)



生長の家社会事業団の設立(『生長の家』誌復刊第1号)

そして、昭和21年1月8日、主務官庁より設立許可を受けるところとなりましたが「生長の家」を冠する法人の設立は、当法人が歴史的に最初です。



『生命の實相』著作権附証明書(左は活字に浄書したもの)

### 證明書

一、谷口雅春著作『生命の實相』著作権  
右小生著作権ヲ昭和廿一年一月八日財団法人生長の家社会事業団へ寄附行為セシコトヲ證明ス  
昭和廿二年八月一日  
東京都渋谷区區田三ノ七七八  
谷口雅春印  
財団法人生長の家社会事業団 殿

創始者谷口雅春先生は、ご著書『生長の家』のはしがきに「生長の家社会事業団の設立」は戦後の光明化運動の発進宣言である」と明言されています。尊師自ら当法人の理事長にご就任、輝子奥様は副理事長となられ、戦後の光明化運動の中枢として救国・救済の大運動を展開するた

め、都道府県に「支部」を置き、全国の誌友に「団員」となることを呼びかけられました。

それに先だつ昭和5年、谷口雅春先生は、個人雑誌『生長の家』を創刊され、全国及び海外にまでその誌友が増大しましたが、尊師は本来、この生長の家人類光明化運動の社会的精神運動を「宗教団体」としてではなく、教化活動を行う「財団法人」として設立することを強く希望されていきました。(『明窓浄机 草創篇』207頁以下)その意味で、戦後、財団法人を設立されたことは尊師ご自身の本来の念願の、実現であったのです。

であればこそ尊師は、この救国・救済運動のために、聖典『生命の實相』、聖経『甘露の法雨』、住吉大神の神示等、宗教上の重要な聖典・聖経等の著作権を、当法人の基本資産と指定して寄附されたのです。このことは、当法人に谷口雅春先生の「宗教的信念」を永遠に正しく護持すべき聖なる使命が託されたものであります。

### 占領軍の弾圧と聖なる使命の護持

ところが昭和22年、祖国再建運動の先頭に立たれていた谷口雅春先生に対し、日本弱体化を図る占領軍最高司令部(GHQ)は、不当にも一切の組織指導を禁止する公職追放と国家再建の言論を封じる執筆追放を命じたのです。かくて尊師は生長の家総裁及び当法人理事長を辞任させられることとなりました。

尊師は当時のご心境を「私は、日本國家の前途を思ひ、日本民族に課せられたる運命を思ひ、泣くに泣けない悲しみの中に、眠られぬ幾夜を

過ごしてゐた」と述べられています。(『秘められたる神示』)

それでやむなく昭和24年、戦前からの教化団体とは全く別の新団体として、谷口清超先生を教主とする宗教法人「生長の家教団」が設立されることになったのです。

もし、尊師の公職追放がなければ教団の設立は必要なかったと論評する識者もいます。

当法人は、このような占領軍の不当な弾圧を乗り越え、設立以来七十年余にわたり、尊師から授けられた聖なる使命を護持し、聖典『生命の

### 人生観、生き方が真逆だった!

岡山県 佐藤時夫(72歳)



もし『生命の實相』との出会いがなかったら、今の自分の幸福はどう生きていったらいいのか、もがき苦しんでいた私を救ってくれたのが『生命の實相』であります。

### 『生命の實相』と私(第6回)

社会人となり、転職を重ね、人生とは何か、働くということはどういうことか。悶々とした日々を過ごして、「何とかしなければ」と焦りと不安の毎日でありました。色んな本を読んでいる内に、次第に霊的なものに惹かれるようになり、次第に「何冊か読み終えた時、引用本『生命の實相』の文字が眼に飛び込んで来ました。導かれるように早速、近所の書店で取り寄せ読み始めたところ、驚くやら感心するやら。今までの人生観、生き方が総て真逆であったと解りました。ページ

を捲る度に「それでも、それでも」という疑問が生じたが、見事にひっくり返され、全面降伏しました。強く、優しく、丁寧にお諭し下され、どの御文章も皆、私の為に書いて下さったかと思えるほど、愛深さが伝わって来ました。同時に、迷いながらも求め続けていた何か、この素晴らしい「御教え」であったと心の底から思いました。

そして、「人間は神の子であり、人間には大宇宙をつくったと同じ巨大な力がやどつておる!」とのお言葉に接し、十余年間持ち続けていた心の縛りが解けました。手の舞い足の踏む所を知らずという心境でありました。

二十巻まで読んだ時、「生命の實相」に書かれていた「神想観」の正しい実修法を教えてもらいたくて、「生長の家倉敷修徳道場」を捜し訪ねて行きました。これがきっかけで私は青年会運動と出会い、以来、谷口雅春先生の御教えと使命に生きる、よろこびの人生を歩ませていただいております。



生長の家のみ教えを正しく護り  
伝えるために!!

# 1口33万円の特別献資に ご協力ください!! (分割も可)

＜当事業団が行っている五つの創立記念事業＞

- ①聖典『生命の實相』、聖經『甘露の法雨』を永遠に護り抜く
- ②谷口雅春先生報恩全国練成会の開催
- ③「生長の家教義」研修講座と青少年練成会の全国展開
- ④「児童養護施設生長の家神の国寮」の運営
- ⑤「谷口雅春先生記念図書資料館」の充実拡大

— これらの事業は皆様の尊いご献資で支えられています —

今から76年前の昭和20年、敗戦によって希望を失った国民に対し、谷口雅春先生は日本再建のための一大政策「生長の家社会事業団の設立」を発表されました。それは立教以来の個人の魂の救済、病気の神癒、人生の苦難の解決という個の救済運動とともに、それを超えて国家救済、世界救済をめざすという一大構想でした。

そして、これら施策の遂行をなすとげるため谷口雅春先生は、聖典『生命の實相』、聖經『甘露の法雨』等の著作権を「生長の家社会事業団」へ基本財産として寄付されたのです。

このことは聖典『生命の實相』、聖經『甘露の法雨』に基づく正しい生長の家教義の久遠の護持とその普及を当法人に託されたことを意味します。

私達、生長の家社会事業団は、この谷口雅春先生の教えと願いを大きく発展させ、正しい「生長の家」を次世代につなぐため、皆様にご寄付の協力を仰ぐ次第です。

(同封のご寄付の申込用紙をご参照ください)

五つの事業を支える奉讀者546名御芳名

これまで献資下さった方々の御芳名を謹んで記載させていただきます。深甚の感謝を捧げさせていただきます。

【税務上の特典】生長の家社会事業団への寄付は、税制上の優遇措置（税額控除等）の対象となります。

## 読者の皆さまからの「喜びの声」

★安東巖先生の素晴らしい先祖供養のご文章も同封されており心より感動、感謝申し上げます。生長の家を知らない人にも先祖供養の大切さをお伝えしようと思ひ、追加で送っていたいただいた貴い講話筆記10部は、最も適切な方の心に届くよう祈りつつお渡ししたいと思っています。(広島県・武田和美)

★道でバッタリ会った知人から「社会事業団の機関紙読んだ?これから先祖様の霊牌供養を一所懸命させていただくわ」と感嘆した声で言われました。私も帰宅して早速拝見し、霊牌供養による体験談にとっても感動しました。私もぜひ毎月の霊牌供養をしたいと思ひ、初めて社会事業団の先祖供養祭にも参列させていただきました。厳かなお祭りで心が落ち着き、こんなに丁寧に先祖供養をしていただける場所があることを本当に有り難く感じました。(神奈川県・辺見由美子)

## 感想をお寄せください!!

「躍進する生長の家社会事業団」をお読みいただいた感想をファックス又は右のQRコードでお寄せください。



FAX: 042-843-0076

生長の家社会事業団は、谷口雅春先生の正しいみ教えを伝えるあらゆる団体、人々を支援しています。

## “大調和の神示祭”を復活・厳修

神示祭は、谷口雅春先生より、「神示が天降った日には神示祭を行うように」とのご指示があつて長年総本山で行われてきた祭事ですが、谷口雅宣総裁教団はこれを廃止してしまいました。

そのため本年四月、尊師の御心を受け継ぐ当法人において謹んで復活させていただきました。以降、住吉大神の御神徳の益々の発現を祈念して、神示が天降った日に龍宮住吉本宮の本尊である住吉大神を奉祀する社殿において、神示の一斉読誦による御祭りとして実施していきます。

9月27日は「大調和の神示」一斉読誦(祭司:久保文剛理事長)を厳修いたしました。



「大調和の神示」一斉読誦(祭司:久保文剛理事長)

## 住吉大神の祝福燦々と降り注ぎ給う 「神癒・聖經供養」祈願

問題解決、神癒の体験続々と!

## 「聖使命奉讃会」(一口千円)

にご入会ください。

## 11月の行事日程

日程	行事	時間	場所
1(月)	月始め感謝祭 聖使命奉讃会感謝奉納祭	10時半~	道場
4(木)	生長の家の食事の神示祭	11時~	社殿
10(水)	無病常楽の神示祭	11時~	社殿
22(月)	谷口雅春先生ご生誕報恩感謝祭 『生命の實相』輪読会	11時~ 13時半~	道場 図書館
25(木)	本来生、不滅の神示祭	11時~	社殿
27(土)	終戦後の神示祭	11時~	社殿
28(日)	物故者顕彰慰霊 先祖供養祭	11時~	道場

## 12月の行事日程

日程	行事	時間	場所
1(水)	月始め感謝祭 聖使命奉讃会感謝奉納祭	10時半~	道場
5(日)	信仰生活の神示祭	11時~	社殿
19(日)	物故者顕彰慰霊 先祖供養祭	11時~	道場
22(水)	谷口雅春先生謝恩祭 『生命の實相』輪読会	11時~ 13時半~	社殿 図書館
28(火)	日本の實相顕現の神示祭 君民同治の神示祭	11時~	社殿

「場所」欄の「道場」は全国練成道場、「図書館」は図書資料館、「社殿」は同屋上の龍宮住吉本宮社殿です。

- ◆「神癒・聖經供養」毎朝9時~10時30分 谷口雅春先生報恩全国練成道場において行っています。自由にご参加ください。
- ◆“全国練成道場講師陣”による個人指導 お悩みや心配事がある方は、気軽にお申し込みください。(遠方や急ぐ方は電話でも)
- ◆図書資料館定期一般開館日のお知らせ 11月4日・18日、12月2日・23日 午前11時~午後3時(原則第1・3木曜日)
- ◆『生命の實相』輪読会(毎月22日図書資料館) 11月・12月は新編第14巻(頭注版第8巻)の観行篇です。

神より出ずるもの、神の属性であるもののみ無限価値がある。愛は無限の価値あるものである。赦しは無限価値あるものである。忠、孝はむろんのこと、すべて肉体を超えて永存する価値のことを考え、求めなければならぬ。(『生命の實相』頭注版第38巻幸福篇)